

普及活動情勢報告（平成30年5月分）

高吾農業改良普及所

J A コスモスの冬春トマト、栽培面積拡大中！



JAコスモスの冬春トマトで栽培面積が拡大しています。管内の冬春トマトは日高村を中心に栽培されており、㈱イチネン農園では新たに1.6haのミニトマトハウスを建設中です。また、8月から1戸新規就農者が高糖度トマト30aの栽培を開始します。平成31園芸年度には大玉トマト・ミニトマト・高糖度トマトを合わせて10haを超える面積になる予定です。

普及所では、㈱イチネン農園や新規就農者に対して施設整備や就農準備の助言指導を行い、新規ハウスでの栽培が順調にスタートできるよう支援していきます。

シシトウ定植勉強会の実施



5月15日、JAコスモス斗賀野支所露地ししとう生産部会の定植勉強会が行われ、7戸の農家が出席しました。定植勉強会はシシトウ苗の配布に合わせて開催され、普及所からは定植時のポイントや注意点を周知しました。農家から「定植後の根張りが大事」と意見があり、定植後の水管理の重要性を確認しました。今年は苗の配布が例年より少し遅くなりましたが、苗の品質は良く農家は満足していました。

今後、普及所は定期的に現地巡回を行い、病害虫の適期防除や灌水管理を指導しシシトウの生産安定を支援していきます。

小型自走式茶園管理機の実演



5月5日、茶農家と関係機関で構成するプロジェクトチームが、仁淀川町内の茶園で小型自走式茶園管理機の一歩茶収穫の摘採精度と収穫労力の軽減効果の実証を行い、10名の生産者が参加しました。

同時に従来の機械でも収穫しましたが、従来の摘採機は4～5人がかりで収穫を行ったのに対し、本機では1人で収穫できるため、園主は本機の導入に関心を示していました。

普及所では補助事業を含めた本機の導入支援を行い、茶の低コスト生産を支援していきます。

今年も夏の香り「山椒」（青果用）の収穫が始まる



当普及所管内には県内でも数少ない山椒産地があります。今作は昨年12月以降気温が低く推移しましたが、3月以降の気温の上昇により順調に生育し、豊作となる見込みです。5月1日には収穫に向けた目慣らし会が行われ、5月初旬から青果用の収穫が始まりました。7月には加工用や薬用の収穫が始まります。

普及所は、施肥や病害虫対策などの栽培管理に関する情報提供やせんだ講習会を開催し、山椒の生産安定のために支援していきます。

水稻極早生品種「よさ恋美人」の実証ほ調査



4月27日、佐川町黒岩地区で高知県育成の水稻極早生品種「よさ恋美人」の現地適応性を確認するため実証ほを設置しました。4月3日の植付直後は、低温により葉先の枯れが見られましたが、その後回復し順調に生育しています。また、普及所から生産者に対して新品種の特性と生育状況を報告しました。生産者は少数ですが収穫時期や良食味に関して期待する声が挙がっています。

普及所は、継続して生育調査を行い、収量・外観及び食味についても水稻生産者に情報提供していきます。